

英語を楽しく

☆ 英語理解は「勘」で乗り越える

次の文を理解しましょう。日本語に訳すわけではありません。

Our school

Himeji junior high school is in the north of the city. 言い方は「甚だ」
のこえる。
There are about eight hundred students in this school.
Many students come to school by bicycle. In the morning, students
bustle around the school gate about 8:20. They greet each other
and talk pleasantly together. せわしく動き回る greet ~に挨拶する



以上の英文を中3のA君に「どんなことが書いてある？」と聞いてみました。

A君の理解

① 「姫路の学校で北の市にある。八百人生徒がいる。多くの生徒が自転車で来る。朝、校門のところで 8時20分に (なにか) している。彼らは話を喜んで話している。」

A君は英語が苦手です。しかし、上の文は①文のように理解しました。

なぜ、A君がそのように理解したのでしょうか。それは、

- ① Our school とあるように「学校に関する文」であることを意識
- ② 各単語を出てくる順に理解
- ③ 意味の知らない単語を気にせず、意味の分かる単語と単語とのその前後のつながりから英文の内容を推測

の3つのことから英文の内容を理解したのです。

A君は(英語が苦手ですが英文理解のために大いに「勘」を働かせた、と言えると思います。

英語の授業では ①単語理解 ②英文法の理解 ③英文の構成理解により、正しく英語を訳せる力をつけていますが、すべての英単語の意味・文法・文の構成理解を覚えることは不可能です。そこで必要なものは、「得ていない知識を勘によって補う」ということが必要になってきます。

「英語を聴き取る、読み見取る」力を付けるためには①②③の力はもちろん必要ですが、①②③のようなことも必要という言です。

また『英語を聴いた順に、見た順に理解していく』ことはさらに大切です。でも、これは特にむずかしいものではありません。学校の英語教育では、例えば下のような英文を

Himeji junior high school is in the north of the city.

姫路中学校は → 市の → 北の方に → あります。

この様に訳す習慣を付けて行くと、見聞きした順に英語を理解することは不可能です。

英単語の順(英語の聞える順)に理解しようと努力をすると「英語内容の理解が英文を読むと同時に理解できてきます。この力は英会話力(聴き取る・話す)力にもなります。